

令和5年度 第3学年 国語科 年間指導計画(年間105時間)

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
----	---

評価の観点 **知・技** 知識・技能 **思・判・表** 思考・判断・表現 **主** 主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価規準
4	1 豊かに想像する	岩が◇ 【読む(詩)】 2時間 ●描かれた情景を想像しながら読み、内容を理解する。(Cイ) ●詩にこめられた作者の思いを捉え、自分の意見をもつ。(Cエ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 描かれた情景を想像しながら読み、内容を理解する。 2 詩にこめられた作者の思いを捉え、自分の意見をもつ。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを上げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで文章に表れているものの見方や考え方を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。
		握手 【読む(小説)】 読み方を学ぼう① 回想 4時間 ●小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価する。(Cウ) ●過去を回想する語り手の思いを捉え、それに基づいて自分の考えをもつ。(Cア)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 小説の構成や場面の展開を捉える。 2 登場人物のしぐさに着目して、心情を捉える。 3 過去を回想する語り手の思いを捉え、自分の考えをもつ。 4 小説の構成や場面の展開の効果を評価する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) 主 ・進んで物語の展開の仕方などを捉え、学習課題にそって批評しようとしている。
		言葉発見① 辞書の語釈 1時間 ●辞書の語釈について理解し、語彙を豊かにする。(知・技(1)イ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 辞書の語釈について理解する。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 主 ・進んで理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
5		グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める 【話す・聞く】 4時間 ●話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、活用する。(Aエ) ●話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを上げたり深めたりする。(Aオ)	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 話し合いを計画的に進行するための方法を理解する。 2 話し合いを計画的に進行するための方法を、グループディスカッションで活用する。 3 話の展開を予測しながら聞き、自分の考えをまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを上げたり深めたりしている。(Aエ) ②「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを上げたり深めたりしている。(Aオ) 主 ・積極的に進行の仕方を工夫しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価規準
6	◆ わかりやすく伝える	漢字を身につけよう① 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。
		読み方を学ぼう② 批判的な読み 「批判的に読む」とは 【読む】 1 時間 ●批判的に読む方法について理解する。(Cウ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 批判的に読む方法について理解し、文章の構成や表現の仕方について評価する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	(※「間の文化」と合わせて評価する。)
		間の文化★ 【読む(評論)】 3 時間 ●文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する。(Cウ) ●「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。(Cエ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 2 文章の構成や論理の展開の仕方を評価する。 3 「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。
		課題作文 条件に応じて 説得力のある文章を書く 【書く】 4 時間 ●条件に応じて表現を考えたり、資料を適切に引用したりして、自分の考えが伝わるように工夫する。(Bウ) ●文章全体を読み直し、目的や意図に応じた表現になっているか確かめて推敲する。(Bエ)	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 課題について、自分の考えをまとめる。 2 自分の考えが伝わるように工夫して、課題作文を書く。 3 交流をとおして、推敲する箇所を見つける。 4 交流を生かして推敲する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) ②「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(Bエ) 主 ・粘り強く文章全体を整え、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
		漢字のしくみ 四字熟語 1 時間 ●四字熟語について理解を深める。(知・技(1)イ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 四字熟語について理解を深める。 2 四字熟語の組み立て方の種類について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 主 ・進んで四字熟語について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価規準
7	3 もの見方感性を養う	漢字を身につけよう② 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を <u>読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</u> ((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
		俳句の世界／俳句十句 【読む(解説/俳句)】 読み方を学ぼう③ 省略 コラム 夏井いつきの 赤ペン俳句教室 3 時間 ●俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。(Cウ) ●語句に注意して情景を豊かに想像し、俳句を読み味わう。(Cエ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 2 語句に注意して情景や心情を捉え、俳句を読み味わう。 3 表現の工夫や効果をふまえて俳句の魅力を伝え合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
		批評文 観察・分析をとおして 評価する 【書く】 5 時間 ●読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。(Bイ) ●論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。(Bオ)	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 社会生活の中から批評の対象を決める。 2 対象となる物事を観察・分析する。 3 読み手を説得できるように構成を工夫して批評文を書く。 4 論理の展開や表現の仕方について意見を交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(Bイ) ②「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) 主 ・粘り強く自分の文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって批評しようとしている。
		言葉発見② 和語・漢語・外来語 1 時間 ●和語・漢語・外来語について理解を深める。(知・技(1)イ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 和語・漢語・外来語の定義、混種語について理解する。 2 語種の違いによる印象の違いについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを <u>使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</u> ((1)イ) 主 ・進んで和語、漢語、外来語などを使い分け、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価標準
		希望 【読む(随想)】 2時間 ●話題とそれに対する筆者の見方に着目して内容を具体的に読み取り、筆者の思いを捉える。(Cイ) ●人間が生きるうえでの「希望」の意味を捉え、自分の考えをもつ。(Cエ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者の見方に着目して読み取り、筆者の思いを捉える。 2 人間が生きるうえでの「希望」の意味を捉え、自分の考えをもつ。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって討論しようとしている。
		私の読書体験 谷間の君へ 【読む】 2時間 ●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解し、読書をおして考えを広げたり深めたりする。(知・技(3)オ, Cエ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、感想を交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 思・判・表 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで人間、社会、自然などについて自分の意見をもち、学習したことを生かして実生活への生かし方を考えている。
		漢字を身につけよう④ 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
9	4 ◆論理的に考える	フロン規制の物語 ——〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざま 【読む(論説)】 読み方を学ぼう④ 具体と抽象 4時間 ●文章に表れているものの見方や考え方を捉える。(Cイ) ●文章を批判的に読み、科学と社会との関係について自分の考えを広げる。(Cエ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章に表れているものの見方や考え方を捉える。 2 異なる立場の説明を読み比べ、筆者のものの見方や考え方を捉える。 3 文章を批判的に読む。 4 社会と科学の関係について自分の考えを広げる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで文章を批判的に読み、学習課題にそって考えをまとめている。
		言葉発見③ 慣用句・ことわざ・ 故事成語 1時間 ●慣用句・ことわざ・故事成語について理解を深める。(知・技(1)イ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 慣用句の意味と用法を理解する。 2 ことわざ・故事成語について意味や由来を理解する。 3 ことわざ・故事成語の表現効果を理解し、語感を磨く。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 5 日本語と英語の慣用表現の違いについて理解を深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことをおとして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 主 ・進んで慣用句などについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価規準
10	5 古典に学ぶ	パブリックスピーキング 状況に応じて 話す力を養う 【話す・聞く】 4 時間 ●社会生活の中から題材を探し、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。(Aイ) ●自分の考えがわかりやすく伝わるように、状況に応じて表現を工夫する。(Aウ)	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 社会生活の中から題材を探し、論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 2 自分の考えが伝わるように、状況に応じて表現を工夫する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) ②「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(Aイ) ③「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ) 主 ・積極的に場の状況に応じて表現を工夫し、学習の見通しをもって話そうとしている。
		漢字を身につけよう④ 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を <u>読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)</u> ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
		和歌の世界 ——万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集 【読む(古文)】 コラム コミュニケーションツール としての歌 4 時間 ●和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。(Cイ) ●和歌の形式や表現の特徴を捉え、その効果について理解する。(Cウ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。 2 和歌の形式や表現の特徴を捉える。 3 和歌の表現の効果について理解し、鑑賞文にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。((3)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ)</u> 主 ・進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。
おくのほそ道 【読む(古文)】 読み方を学ぼう⑤ 状況・背景 3 時間 ●歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える。(知・技(3)ア、Cイ) ●優れた表現や文体の特徴に着目しながら、作品を読み深める。(Cエ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 表現やリズムを意識して、古文を音読する。 2 歴史的背景などに注意して、作者のものの見方や考え方を捉える。 3 優れた表現や文体の特徴に着目しながら、作品を読み深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 (学びを広げる)	知・技 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。((3)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、 <u>文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ)</u> ③「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んでものの見方や考え方について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価規準
		言葉発見④ 言葉の現在・過去・未来 1時間 ●時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。(知・技(3)ウ)	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 言葉は変化すること、言葉の変化にはパターンがあることを理解する。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ) 主 ・進んで時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
		論語◇ 【読む(漢文)】 漢文の読み方 訓読の仕方の確認 2時間 ●漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。(Cイ) ●「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えをもつ。(Cエ)	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。 2 「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えをもつ。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。((3)ア) ②長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで人間や社会などについて自分の意見を持ち、学習課題にそって文章にまとめようとしている。
		表現ブラザ 漢字一字で表現すると 【書く】 2時間 ●日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。(Bア) ●文章を読み合っ、お互いの表現のよい点を見つける。(Bオ)	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。 2 文章を読み合っ、お互いの表現のよい点を見つける。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 思・判・表 ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。(Bア) ②「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) 主 ・粘り強く集めた材料の客観性や信頼性を確認し、学習の見直しをもって自分の考えを書こうとしている。
		漢字を身につけよう⑤ 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
11	6 ◆ 情報 を 関係 づけ	複数の情報を関連づけて 考えをまとめる 【情報】 情報社会を生きる	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 資料A「情報社会を生きる」を読む。 2 文章から読み取ったことをもとに、課題について話し合う。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。((2)イ) 思・判・表

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価規準
		<p>——メディア・リテラシー</p> <p>【読む(論説)】</p> <p>広告の読み比べ</p> <p>【読む(実用文)】</p> <p>話す・聞く…2時間 読む…3時間</p> <p>●具体と抽象など情報と情報との関係に注意しながら、互いの発言を生かして話し合う。(知・技(2)ア, Aオ)</p> <p>●情報の信頼性の確かめ方を理解して情報を活用し、自分の考えを広げたり深めたりする。(知・技(2)イ, Cエ)</p>	<p>1 資料B「広告の読み比べ」にある二つの広告を読み取る。</p> <p>2 二つの広告を読み比べて、作り手の意図を読み取る。</p> <p>1 資料Aと資料Bを関連づける。</p> <p>2 課題について、自分の考えをまとめる。</p> <p>1 グループで話し合っ、考えを深める。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>①「話すこと・聞くこと」において、<u>進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(Aオ)</u></p> <p>②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、論理の展開の仕方などを捉えている。(Cア)</p> <p>③「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ)</p> <p>④「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ)</p> <p>⑤「読むこと」において、<u>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ)</u></p> <p>【主】</p> <p>・積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。</p>
		<p>ポスター</p> <p>情報の信頼性を確かめて 考えを発信する</p> <p>【書く】</p> <p>4時間</p> <p>●書く目的や意図に応じて文章の種類を選択し、読み手を説得できるように構成を工夫する。(Bイ)</p> <p>●信頼性の高い資料を適切に引用して、自分の考えがわかりやすく伝わる文章を書く。(知・技(2)イ, Bア, Bウ)</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 ポスターで取り上げる題材を決める。</p> <p>2 構成を考えて下書きする。</p> <p>3 推敲してポスターを書く。</p> <p>4 交流する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。((2)イ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>①「書くこと」において、<u>集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</u></p> <p>②「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(Bイ)</p> <p>③「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(Bウ)</p> <p>【主】</p> <p>・粘り強く集めた材料の客観性や信頼性を確認し、学習の見通しをもってポスターを書こうとしている。</p>
		<p>文法の窓</p> <p>文法のまとめ</p> <p>表現につながる文法</p> <p>2時間</p> <p>●言葉の選び方による伝わり方や与える印象などの違いについて理解を深める。(知・技(1)ウ)</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「文法の窓」で語句の選択による表現の違いについて考える。</p> <p>2 「文法のまとめ」「表現につながる文法」について理解を深める。</p> <p>3 「確認しよう」の課題に取り組む。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ)</p> <p>【主】</p> <p>・進んで話や文章の種類とその特徴について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>
		<p>漢字を身につけよう⑥</p> <p>1時間</p> <p>●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)</p>	<p>1 中学校で学習する漢字を読む。</p> <p>2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」</p>	<p>【知・技】</p> <p>①第2学年までに学習した常用漢字に加え、<u>その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)</u></p> <p>②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ)</p> <p>【主】</p> <p>・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価規準
12	7 読みを深め合う	初恋◇ 【読む(詩)】 コラム 文語定型詩と口語自由詩 2時間 ●詩の形式をふまえて音読し、描かれている思いを捉える。(Cア) ●表現の特徴とその効果を捉え、作品を味わう。(Cウ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩の形式をふまえて音読し、描かれている思いを捉える。 2 表現の特徴とその効果を捉え、作品を味わう。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) 主 ・進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。
		言葉発見⑤ 相手や場に配慮した 言葉遣い 1時間 ●敬語のさまざまなはたらきを知り、相手や場に合った使い分けについて理解を深める。(知・技(1)エ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 状況に合わせて言葉や表現を使い分けられていることを理解する。 2 敬語のさまざまなはたらきについて理解する。 3 敬語を使わずに気配りを表す方法について理解する。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ) 主 ・進んで単語の類別について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
		故郷☆ 【読む(小説)】 読み方を学ぼう⑥ 反復 5時間 ●登場人物の言動や関係を捉え、作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。(Cイ, Cエ) ●人物の心情と描写との関連や人物設定など、表現の特徴や工夫を捉え、評価する。(Cウ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 人物の心情と描写との関連や人物設定を捉える。 2 登場人物の言動や関係を捉える。 3 表現の特徴や工夫を捉え、評価する。 4 作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ③「読むこと」において、文章を読んで考えを上げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで考えを上げたり深めたりし、学習課題にそって批評しようとしている。
		読書活動 ブックトーク 【話す・聞く】 2時間 ●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。(知・技(3)オ) ●自分の考えを明確にし、論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。(Aイ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 話の構成を工夫してシナリオを考える。 2 ブックトークをする。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(Aイ) ②「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ) 主 ・積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価規準
		漢字を身につけよう⑦ 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を <u>読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)</u> ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
1	8 視野を広げる	「文殊の知恵」の時代 【読む(論説)】 2 時間 ●筆者の主張を捉え、自分の知識や経験などと照らし合わせながら内容を理解する。(Cエ) ●文章を読んで、これからの社会について考え、自分の意見をもつ。(Cエ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者の主張を捉え、自分の知識や経験などと照らし合わせながら内容を理解する。 2 文章を読んで、これからの社会について考え、自分の意見をもつ。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 思・判・表 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。
		坊っちゃん 【読む(小説)】 3 時間 ●言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意して読み、作品の特徴を評価する。(Cウ) ●身近な人との関わり方について考えを深める。(Cエ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意して読む。 2 身近な人との関わり方について考えを深める。 3 作品の特徴を評価する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで人間や社会などについて考え、学習課題にそって批評しようとしている。
		漢字を身につけよう⑧ 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「三年生で学ぶ漢字字典」	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を <u>読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)</u> ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。((1)イ) 主 ・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
2	◆	名言集 中学校生活を振り返って 【話す・聞く】 2 時間 【書く】 5 時間 ●話し合いの仕方を工夫して集めた材料を整理し、考えを広げたり深めたりする。(Aア, Aオ) ●表現の仕方を考え、自分の考えがわかりやすく伝わるように、文章全体を整える。(Bウ, Bエ)	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 編集方針を立てる。 2 言葉を集める。 3 言葉を選び、構成を決める。 4 推敲し、清書する。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 5 交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) ②「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(Aオ) ③「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) ④「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(Bエ) 主 ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の仕方を考え、学習の見通しをもって名言集を作ろうとしている。

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	主な学習活動	評価規準
		歌の言葉 さくら(独唱)	-	-

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画（各観点の評価方法）

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。
評 価 の 方 法	・漢字テストなどの小テスト ・定期考査 ・書写	・授業時に行う発表・話し合い活動 ・提出物(ワークシート、作文、レポートなど) ・定期考査	・授業態度(発言／態度／忘れ物) ・試験の振り返りテスト ・提出物(ワークシート、振り返りカード、ワーク) ・定期考査

学習のアドバイス

(1)授業態度

- ・積極的に発言をするなど、進んで授業に参加しましょう。
- ・分からないところは自ら先生に質問したり、調べたりしましょう。
- ・板書されたものをワークシートに書くだけでなく、先生の話や仲間の意見から出た重要なことはメモをとりましょう。

(2)提出物

- ・計画的に学習を進め、期日を守って提出してください。
(定期考査後や夏季休業明けなどには、ワークや漢字練習ノートの提出が必要な場合があります。)

(3)単元ごとのふりかえり

- ・自分の課題を把握して、それを改善しようとするのが大切です。そのために単元の振り返りカードを活用しましょう。
- ・評価基準は、年度当初の授業で出した通りです。

(4)家庭学習

- ・一番大切なのは授業プリントの見直しです。答えだけでなくどのような過程で考えたのか、学習した内容をしっかりと復習しましょう。
- ・教科書本文の音読をしましょう。声に出して繰り返し音読することで、内容理解が深まります。また、漢字の読み方の復習にもなります。
- ・単元が終わったらワークの問題に取り組みましょう。定期考査前には繰り返し問題を解きましょう。ただし、答えを暗記するのではなく、なぜその問題が出されるのか、問われていることは何かを考えてみましょう。
- ・定期考査では漢字の問題が出題されます。計画的に漢字練習ノートを取り組み、定期考査前には復習するようにしましょう。
- ・教科書やワークに出てくる語句の意味を調べ、進んで語彙を増やすようにしましょう。